

教材・支援機器活用実践事例

【手指の動きを引き出し、言語の獲得と拡大を目指した音声スイッチ教材】

	実施年度	平成30年度
授業について	教科名等	自立活動
	単元・題材名	言語の獲得と拡大
	授業における教師のねらい	①手指を動かすという自分からできる動きを引き出すー「身体の動き」(1) (2) ②スイッチを押すとイラストに関連した音声流れることに気づき、教師の反応を見ながら適切な色と形状の物を選び出す力を育むー「環境の把握」(1) 「コミュニケーション」(1)
	授業における子どもの目標	①教師の言葉かけに応じて手指を動かし、スイッチを入れることができる。 ②スイッチを押すと録音した自分の声(音声)が流れることに気付いたり、音声にあった色と形状の物を選んで教師に手渡ししたりすることができる。
子どもについて	学校・学級・学年	特別支援学校・重複障がい学級・高等部1学年
	対象の障がい	知的障がい 肢体不自由 病弱
	授業形態	個別指導
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・音声過敏で他者の声にストレスを感じることもある。 ・対話型の学習でも集中できる視野範囲と活動範囲、時間が限られる。 ・スピーカーから流れる好きな音楽や自分の声に興味を示す。 ・関心のあることについて、教師に顔を近づけて尋ねることがある。
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	名称:「イラスト+音声スイッチ」 ①イラスト ②ラミネート ③マジックギャザーテープ (100円ショップ購入) ④コンパ スカッター (100円ショップ購入) ⑤はがきケース (100円ショップ購入) ⑥プラスチックボード (100円ショップ購入) ⑦電子回路 (10秒録音・再生) +ボタン電池 ⑧押しボタンスイッチ (直流用)
	活用のねらい	・本生徒の力で色と形状のスイッチを押して音声を再生させ、音声にあった色と形状の物を選択することができる。
授業における支援・教材の配慮事項		・本生徒の声を録音し、感覚的に再生を楽しむことができるスイッチを使用した。スイッチは扱いやすい数にして、それぞれ再生できるようにしている。
子どもの変容や評価		・関心をもって何度もスイッチを押そうとする様子がうかがわれた。この学習をとおして、赤、黄、青など、色の読み方についてはよくわかり、同系色であっても近い色のグループでまとめることができるようになった。また、図形の形と読みは、三角と四角についてはやや難しいようであるが、丸は認知している。赤、黄、青のそれぞれの色と丸の組み合わせについて、あった物を選択できるようになった。

